



木曽川下流自然観察会

テーマ 「河原で虫を探そう」

日時 2015/9/13 9:30~12:00

参加者 一般：2名（うち子ども1名）

指導員：3名

セミの声が静かになるこの時期になるとバッタやキリギリス、コオロギの仲間が目立つようになります。木曽川の川原に降りて、虫を探しました。

まずは草の間から出てきたエンマコオロギを捕まえて、顔つきなどをしっかり観察しました。コオロギやキリギリスの仲間は触角が髪の毛のように細くて長いことが特徴です。バッタの仲間は、それに比べるとたくて短いことを、ショウリヨウバッタを捕まえて確認しました。

トンボではウスバキトンボが目立ちます。草の背丈ほどのところを群れて飛び交っています。ツバメも低いところを飛んでいるところを見ると、ユスリカなどの小さな虫が低い位置を飛んでいるのかもしれない。水際近くにはハグロトンボの、木立の間にはマユタテアカネの姿がありました。近年、アカトンボの仲間（アカネ属）では、ナツアカネやアキカネなどはほとんど見かけず、最も見かけるものがこのマユタテアカネです。

チョウはキタキチョウの鮮やかな黄色が目立ちます。以前、キチョウと呼ばれていましたが、2種あることが分かり、この辺りで見られるものにキタキチョウという名がつけられたそうです。地味な色合いのヒメウラナミジャノメやイチモンジセセリもたくさん飛んでいました。

植物ではカワラヨモギの花が咲き始めました。小さな花で気づきにくいのですが、よく見るとヨモギの仲間ということがわかります。

それにしても、ここには外来植物が多いですね。オオブタクサ、ブタクサ、ホシアサガオ、マメアサガオ、アレチハナガサ、オオフタバムグラ、アレチヌスビトハギ……。でも、公園の中には在来のヌスビトハギもアレチヌスビトハギに混じって花をつけていました。不思議な光景でした。

<その他観察できたもの>

昆虫：ヒナバッタ、ツユムシ、クルマバッタ、シオカラトンボ、カトリヤンマ、サトキマダラヒカゲ、ツマグロヒョウモン、ナガサキアゲハ、チャバネセセリ、アオバハゴロモ 鳥：ヒバリ 花：キクイモ、ネナシカズラ、ア

メリカネナシカズラ、センニンソウ、カワラサイコ、ヤブラン、ノアズキ、ツルボ、クズ、ユウゲショウ、フジカンゾウ、ヒガンバナ、ヒメジョオン、シロツメクサ



(観察会のようす)



(ショウリヨウバッタ)



(ツユムシ)



(オオフタバムグラ)